
第 2 7 6 号
2017年1月11日

日 本 気 象 学 会

関 西 支 部 ニ ュ ー ス

- 関西支部第32期役員を選出
- 2016年度 関西支部理事会報告
- 2016年度 関西支部総会および年会報告
- 関西支部気象関係合同進路説明会報告
- 関西支部 第38回 夏季大学報告
- メールアドレス登録のお願い
- 住所変更届のお願い

〒 540-0008
大阪府中央区大手前4丁目 1-76
大阪合同庁舎第4号館 大阪管区气象台内
日本気象学会関西支部
振替 00980-5-18318
TEL (06) 6949-6143
FAX (06) 6944-2121

ホームページ：

<http://kansai.metsoc.jp/>

E-mail：

kansai-info@metsoc.jp

(注：メールアドレスはスパム対策のため全角で記しています。

メール送信の際は半角で入力してください。)

○ 関西支部第32期役員を選出

日本気象学会関西支部は役員選挙を行い、第32期の役員（任期：2016年7月～2018年6月）を選定しました。また、4名の幹事が指名されました。

	(第32期役員)	(新役員の所属)
常任理事	石岡 圭一	京都大学
常任理事	大澤 輝夫	神戸大学
常任理事	佐藤 貴洋	大阪管区气象台
常任理事	土井 恵治	大阪管区气象台
常任理事	難波 良彰	日本気象予報士会関西支部
常任理事	春海 孝	大阪管区气象台
常任理事	向川 均	京都大学
地区理事 (近畿)	井上 進	日本気象協会関西支社
地区理事 (近畿)	多田 英夫	大阪管区气象台
地区理事 (中国)	岩田 徹	岡山大学
地区理事 (中国)	三登 慎一	広島地方气象台
地区理事 (四国)	佐々 浩司	高知大学
地区理事 (四国)	山田 眞吾	高松地方气象台
会計監査	久保 裕之	日本気象協会関西支社

幹事	井口 敬雄	京都大学
幹事	関野 裕功	大阪管区気象台
幹事	藤原 義寿	大阪管区気象台
幹事	山田 友幸	大阪管区気象台

○ 2016 年度関西支部理事会報告

6月25日11時から、「エル・おおさか」において、2016年度総会に先立ち理事会が開かれました。春海常任理事の進行により午後からの総会を前に、各議題の報告及び審議が行われました。

まず、前項のとおり第32期役員が選出されたことが報告され、常任理事の土井恵治氏が支部長に選出されました。次に2015年度の事業報告、収支決算報告、及び会計監査報告、続いて2016年度事業計画案と予算案について各担当理事が説明し



理事会の様子

ました。第38回夏季大学は「豪雨災害の実態に迫る」のテーマで、2016年8月20日（土）に京都市での開催とすることが承認されました。

次に、教育活動の拡充として、夏季大学への高校生の参加費を引き続き無料にすること、夏季大学の開講前に同じ会場において、大学で気象学を学びたい高校生や、気象の知識を活かした就職を希望する方を対象に、「気象関係合同進路説明会」を実施することが承認されました。例会での高校生による研究発表の受け入れ等の取り組みについても議論され、近畿地区での実績を踏まえ四国地区でも検討したい旨、四国理事から発言がありました。

最後に、支部総会の廃止と年会の休止について、近年の支部総会の開催状況及び年会での発表応募状況、今後の総会・年会のあり方に関する常任理事会での検討結果と方針案、支部会員からの意見募集の結果が説明され、2017年度以降支部総会を廃止、年会は休止して年3回開催している例会に集約する方針を本総会で諮ることが承認されました。

○ 2016 年度 関西支部総会および年会報告

<2016年度気象学会関西支部総会> 2016年6月25日（土） 13:00～13:50

総会では、最初に総会成立審査を行い、関野幹事から役員を含む個人会員の出席者17名、参加票により議決権の代理行使または意思表示を行なった個人会員が273名で、関西支部通常会員数474名の三分の一を超えており総会が成立する旨、報告がありました。続いて、第32期役員が紹介され、土井支部長が開会の挨拶を行いました。

その後、京都大学防災研究所の堀口氏を議長に選出して、議事が進められました。まず、2015年度の事業報告・収支決算報告・会計監査報告が行われました。続いて2016年度事業計画案・予算案が審議されました。関西支部理事会から、教育活動の拡充として、夏季大学の高校生参加費の無料、夏期大学開催日に同じ会場での気象関係合同説明会開催の継続実施が提案されました。



総会の様子

また、支部総会の廃止と年会の休止について、近年の支部総会の開催状況及び年会での発表応募状況を鑑み、2017年度以降支部総会を廃止、年会は休止して年3回開催している例会に集約する方針が提案されました。議題については、原案どおりすべて賛成多数で承認されました。

なお、支部総会の廃止と年会の休止については、関係する支部規約の変更を理事会から本部事務局に確認の上、具体的作業について引き続き検討することも確認された後、議長解任を経て総会は閉会となりました。

<2016年度気象学会関西支部年会>

総会後に2016年度気象学会関西支部年会の開催を予定していましたが、発表応募が0件となり、残念ながら開催を中止いたしました。来年度以降も年会は休止の予定ですので、各地区で開催する例会への発表応募・参加を是非お願いいたします。

○ 関西支部気象関係合同進路説明会報告

関西支部第38回夏季大学の開催日(2016年8月20日(土))に合わせて、大学で気象学を学びたい高校生や気象の知識を活かした就職を希望する方を対象とした「気象関係合同進路説明会」を実施しました。

前半40分間は、気象関係の進路に関する3つのプレゼンテーションを行いました。1つ目の「気象を学べる関西支部内の大学紹介」(大学教員)では、気象に関する大学・大学院の一覧表と各研究室の紹介資料を基に、関西支部内で気象が学べる大学・大学院が紹介されました。続く「自然相手の最前線、気象庁業務の紹介」(気象庁職員)では、気象庁が行っている業務や現在取り組んでいる課題が紹介されました。3つ目の「気象の知識を活かせる就職先」(気象予報士会会員)では、大学・大学院卒業後の民間での就職先と就職の現状が紹介されました。



進路説明会での個別相談の様子

後半20分間は、参加者が大学教員、気象庁職員、気象予報士会会員に直接相談することができる「個別相談会」を実施しました。参加者は希望するブースに座って、前半の一般的なプレゼンテーションでは聞けなかった詳細な部分について、熱心に質問されていました。

当日配布したアンケートの結果によれば、本説明会への参加総数は11名で、内訳は高校生1名、大学生5名、大学院生2名、不明3名でした。昨年度と同様、高校生よりもむしろ大学生・大学院生の方が多く、卒業・修了後の進路に強い関心を持っていることがうかがえました。特に今年度はその傾向が強く、個別相談会では気象庁職員のいるブースが盛況で、常に相談者で埋まっている状況でした。参加者の中には、広島県や高知県、山形県等の遠方から来られた方もおられ、気象分野の進路情報へのニーズが全国的に潜在していることをうかがわせる機会となりました。

尚、当イベントでの配布資料の作成には、関西支部内の大学関係者や大阪管区気象台の方々、(一社)日本気象予報士会関西支部の方々の多大なご協力を賜りました。ここに厚くお礼申し上げます。

○ 関西支部 第38回 夏季大学報告

2016年8月20日(土)、京都テルサ東館3階大会議室において、関西支部第38回夏季大学を大阪管区気象台及び日本気象協会関西支社の後援で開催しました。今回は「豪雨災害の実態に迫る」をテーマとし、荒木健太郎氏(気象庁気象研究所研究官)「豪雨をもたらす雲のしくみ」、大石哲氏(神戸大学都市安全研究センター教授・センター長)「電波で見て知る豪雨と雷」、諏訪浩氏(東京大学空間情報科学研究センター/立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員)「京都東山の山津波」の3講義を実施しました。



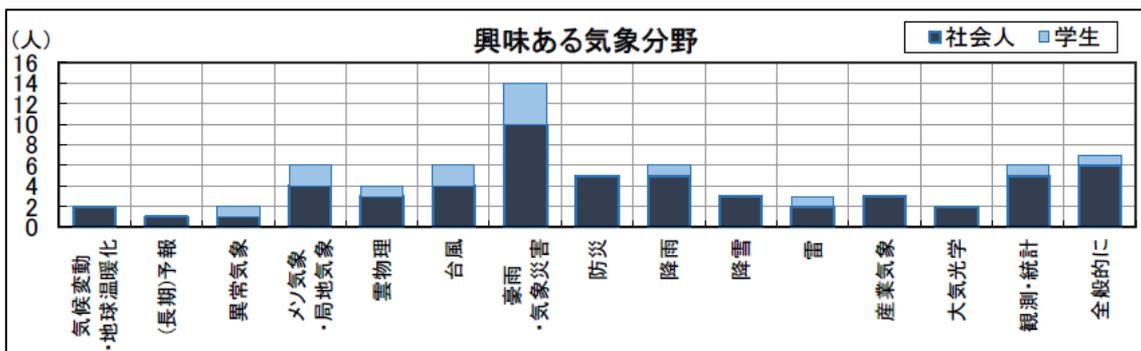
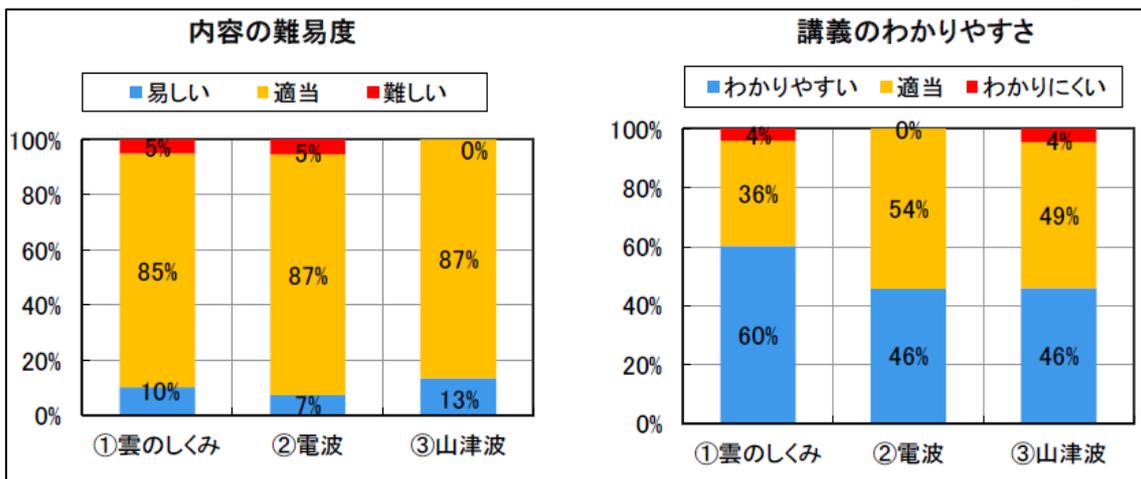
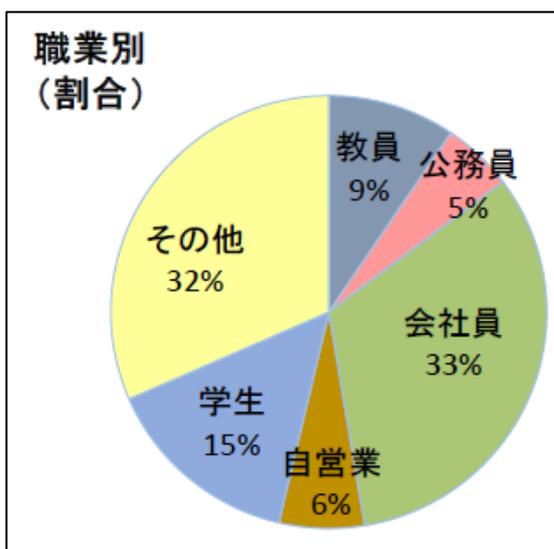
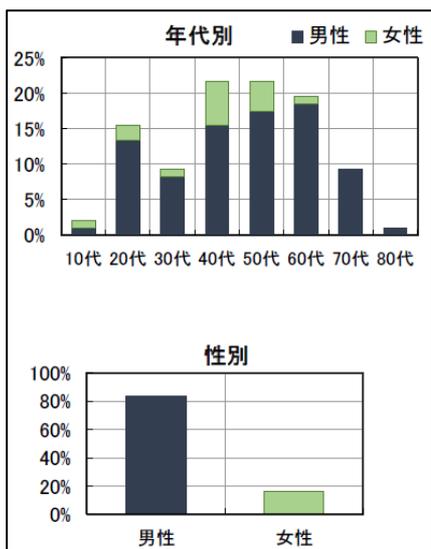
夏季大学での講義風景

講師の皆様には大変なご尽力をいただき、結果的に例年の2倍近くの厚みとなった講義資料を用いて、それぞれの専門分野のお話を熱く語っていただきました。第一講義(荒木氏)では、積乱雲の性格とその一生、豪雨との関係、豪雨をもたらす雲のしくみについての解説があり、実際の豪雨について複数の事例を紹介していただきました。第二講義(大石氏)では、Xバンド偏波ドップラーレーダー(XRAIN)による集中豪雨探知、GPSによる水蒸気観測、雷探知装置による雷観測など、豪雨現象に関する観測技術について解説していただきました。第三講義(諏訪氏)では、京都東山の山津波の話を中心に地すべりや土石流に関する研究成果が紹介され、講義最後には天変地異によって人的被害を招かないための備えについてもお話していただきました。

今年度は講師の荒木氏がネット上で当イベントの広報にご尽力くださったこともあり、受講者は前年度に比べて30名増の124名となりました。受講者の学会員/非会員の比率

は約3対7で、職業別の内訳は、割合の多い順に会社員33%、学生15%、教員・公務員14%、自営業6%でした。受講者の方々は皆様大変熱心に聴講され、講義後の質疑応答では数多くの質問がありました。受講後のアンケートを見ても、講義のわかりやすさについて、約96%の方が「わかりやすい」もしくは「適当」と回答されており、感想欄及び自由記述欄のコメントも含めて、大半の受講者から良い評価をいただく結果となりました。

最後に、多大な協力をいただいた後援の団体及び講演いただいた講師の皆様に厚くお礼申し上げます。



○ メールアドレス登録のお願い

関西支部ニュースは年3回（5月、10月、3月）発行予定で、2006年度から関西支部ホームページに掲載して閲覧していただいています。支部ニュース発行、総会・年会・例会などの開催通知等は支部全会員にE-mailで配信しています。まだ登録されていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mailアドレスを関西支部事務局まで、ご登録いただくよう重ねてお願いします（関西支部の連絡先などは最初のページをご覧ください）。

○ 住所変更届のお願い

機関誌「天気」などの発送は学会本部事務局の会員名簿に基づいて行っています。学会事務局では会員の皆様の異動状況を早めに把握するように努めておりますが、把握漏れがあった場合には旧勤務地（旧住所）に発送され、旧勤務地（旧住所）の方に転送等の御迷惑をおかけすることになります。会員の皆様におかれましては、転勤等により勤務地（住所）が変わった場合、気象学会ホームページの会員登録情報の変更ページで申請いただくか、変更届を速やかに下記の学会本部事務局宛にご連絡いただきますようお願いいたします。

※ホームページ <https://www.metsoc.jp/about/join/>

※学会事務局 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内

TEL : 03-3216-4403 FAX : 03-3216-4401

E-mail metsoc-j@aurora.ocn.ne.jp

（注：メールアドレスはスパム対策のため全角で記しています。メール送信の際には半角で入力して下さい）

住所等の変更届

- | | |
|--------------|------|
| ・会員番号： No. | ・氏名： |
| ・旧勤務地（旧住所）：〒 | |
| ・新勤務地（新住所）：〒 | |

会費の納入など詳しいことは学会事務局にお尋ね下さい。

※学会事務局 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内

TEL : 03-3216-4403 FAX : 03-3216-4401